

きづがわしの水道

～安心・安全な生活と快適な暮らしを支える水道～



タツタタワー木津川市

平成28年度水道事業会計 決算の概要

収益的収支・税込 (単位:万円)

項目		平成28年度 決算	平成27年度 決算	比較
収入	水道料金	121,375	119,071	2,304
	手数料	608	653	△ 45
	下水道負担金	6,538	6,914	△ 376
	他会計負担金	1,321	1,350	△ 29
	財政調整基金繰入金	13,500	14,000	△ 500
	長期前受金等戻入額	28,923	29,468	△ 545
	その他(広告収入等)	531	511	20
計	172,796	171,967	829	
支出	職員人件費	15,390	15,206	184
	動力費	11,422	12,240	△ 818
	薬品費	457	431	26
	受水費	43,296	43,358	△ 62
	検針委託料	2,284	2,170	114
	修繕料	5,735	5,414	321
	支払利息	2,115	2,248	△ 133
	減価償却費	70,479	70,475	4
	貸倒引当金	998	1,038	△ 40
	その他(施設維持費等)	14,956	15,968	△ 1,012
	計	167,132	168,548	△ 1,416
	差引	5,664	3,419	2,245

平成28年度水道事業会計の決算が9月市議会定例会において認定されましたので、その概要をお知らせいたします。

水道事業会計は、水道水をつくり、施設の維持管理のための経費を扱う収益的収支と、水道管の更新や施設の建設などを行う資本的収支に分かれています。

まず、収益的収支について、ご紹介いたします。平成28年度は、市民の皆様により約737万 m^3 の水をご使用いただきました。城山台地区などの人口増加により、水道料金収入は12億1,375万円と前年度に比べ2,304万円の増となりました。施設の維持管理や営業活動、減価償却費などの経費は16億7,132万円でしたが、電力デマンド監視装置の導入などにより前年度に比べ1,416万円減となりました。

次に、資本的収支では、新規契約などによる加入金1億4,195万円のほか、施設耐震化事業による国庫補助金や一般会計からの出資金などの収入がありました。建設改良費では、新しい山城高区配水池の用地造成工事、観音寺浄水場の送水流量計取替工事、吐師受水場のテレメーター装置取替工事などのほか、水道管の布設替工事(延長1,960.4m)、舗装復旧工事(面積2,640 m^2)を行いました。また、開発に伴う分担金収入6億1,119万円は、将来の施設更新の財源とするため、全額を財政調整基金に積み立てました。

資本的収支・税込 (単位:万円)

項目		平成28年度 決算	平成27年度 決算	比較
収入	加入金	14,195	14,742	△ 547
	工事負担金	3,955	8,116	△ 4,161
	一般会計出資金	2,957	892	2,065
	国庫補助金	402	177	225
	開発分担金等	61,119	5,464	55,655
計	82,628	29,391	53,237	
支出	建設改良費	44,924	35,475	9,449
	企業債償還金	3,944	3,814	130
	財政調整基金積立金	61,119	5,464	55,655
計	109,987	44,753	65,234	
差引	△ 27,359	△ 15,362	△ 11,997	

※資本的収支の差額は、過年度留保資金等で補てんしています。

業務量

項目	平成28年度	平成27年度	比較
年度末給水人口(人)	73,919	72,901	1,018
年度末給水戸数(戸)	28,498	27,833	665
年間配水量(m^3)	8,115,533	8,113,477	2,056
年間給水量(m^3)	7,372,437	7,245,336	127,101
有収水量率(%)	90.84	89.30	1.54
給水原価・税抜(円/ m^3)	175.54	178.68	△ 3.14
供給単価・税抜(円/ m^3)	152.45	152.18	0.27

給水原価とは1 m^3 の水道水をつくるために使った費用で、前年度より3.14円安くなっています。また、供給単価とは水道水1 m^3 当たりの売上高をあらわすもので、前年度より0.27円伸びています。これらの指標からも水道事業の経営が好転していると言えます。

企業債の状況

(単位:万円)

区分	平成27年度 末残高	平成28年度 借入額	平成28年度 元金償還額	平成28年度 末残高
水道事業債	97,949	0	3,944	94,005
簡易水道事業債	92,073	5,620	3,258	94,435
計	190,022	5,620	7,202	188,440

水道施設を建設するために、財務省や地方公共団体金融機構から借りた企業債の平成28年度末残高は、18億8,440万円となっています。また、簡易水道事業債の元金償還金のうち、約55%が国からの財政支援として、普通交付税に算入されています。

財政調整基金の状況

(単位:万円)

区分	平成27年度 末残高	平成28年度 取崩額	平成28年度 積立額	平成28年度 末残高
水道事業会計	182,422	13,500	61,119	230,041
簡易水道事業特別会計	532	532	0	0
計	182,954	14,032	61,119	230,041

平成29年4月1日に簡易水道事業特別会計を水道事業に統合し、簡易水道事業特別会計の財政調整基金を廃止しました。水道事業会計の財政調整基金は、平成28年度末で23億41万円の残高となっています。



用地造成工事

ステンレス製・容量1,700m³の配水池を築造しています。

【山城高区配水池更新事業の進捗状況】

H26 基本設計

H27 実施設計・用地取得

H28 用地造成工事

H29 本体工事 3月完成予定

財政収支計画との比較

収益的収支・税込

(単位:万円)

項目		平成28年度 決算	平成28年度 計画	比較	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度 計画	平成32年度 計画
収入	水道料金	121,375	119,098	2,277	123,278	124,658	127,316	130,222
	水道料金(簡水)				2,273	2,250	2,249	2,247
	手数料	608	446	162	446	446	526	526
	下水道負担金	6,538	6,698	△ 160	6,698	6,698	6,698	6,698
	他会計負担金	1,321	1,102	219	179	179	179	179
	一般会計負担金(簡水)				2,327	2,895	3,134	3,129
	財政調整基金繰入金	13,500	13,500	0	11,000	8,500	5,500	0
	長期前受金等戻入額	28,923	31,497	△ 2,574	35,578	38,393	38,011	37,461
	長期前受金等戻入額(簡水)				1,104	1,078	1,064	1,059
	その他(広告収入等)	531	427	104	377	378	378	378
その他(簡水)				665	0	0	0	
計	172,796	172,768	28	183,925	185,475	185,055	181,899	
支出	職員人件費	15,390	15,935	△ 545	16,043	16,152	16,262	13,302
	動力費	11,422	12,472	△ 1,050	12,910	13,055	13,333	13,637
	動力費(簡水)				505	500	500	499
	薬品費	457	438	19	453	458	468	479
	受水費	43,296	43,399	△ 103	45,100	45,178	45,865	42,858
	検針委託料	2,284	2,183	101	2,198	2,222	1,107	1,160
	修繕料	5,735	6,018	△ 283	6,018	6,018	6,073	6,129
	修繕料(簡水)				250	250	252	255
	支払利息	2,115	2,115	0	2,066	2,132	1,976	1,810
	支払利息(簡水)				1,540	1,493	1,441	1,384
	減価償却費	70,479	73,667	△ 3,188	76,146	76,476	76,297	75,827
	減価償却費(簡水)				4,596	4,472	4,417	4,369
	貸倒引当金	998	998	0	1,000	1,000	1,000	1,000
	その他(施設維持費等)	14,956	14,954	2	14,552	15,531	15,550	18,721
その他(簡水)				199	198	199	200	
計	167,132	172,179	△ 5,047	183,576	185,135	184,740	181,630	
差引	5,664	589	5,075	349	340	315	269	

資本的収支・税込

(単位:万円)

項目		平成28年度 決算	平成28年度 計画	比較	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度 計画	平成32年度 計画
収入	加入金	14,195	11,081	3,114	10,130	10,130	12,055	12,166
	工事負担金	3,955	5,218	△ 1,263	3,000	3,000	3,000	3,000
	一般会計出資金	2,957	3,830	△ 873	10,959	3,000	0	0
	国庫補助金	402	621	△ 219	1,336	0	0	0
	開発分担金等	61,119	2,000	59,119	1,500	1,000	0	0
	企業債	0	8,670	△ 8,670	21,190	0	0	0
計	82,628	31,420	51,208	48,115	17,130	15,055	15,166	
支出	建設改良費	44,924	60,750	△ 15,826	64,500	37,500	37,800	38,200
	企業債償還金	3,944	3,945	△ 1	5,693	6,464	6,615	6,770
	企業債償還金(簡水)				2,684	2,996	3,483	3,532
	財政調整基金積立金	61,119	2,000	59,119	1,500	1,000	0	0
	計	109,987	66,695	43,292	74,377	47,960	47,898	48,502
差引	△ 27,359	△ 35,275	7,916	△ 26,262	△ 30,830	△ 32,843	△ 33,336	

※資本的収支の差額は、過年度留保資金等で補てんします。

※(簡水)簡易水道事業特別会計は、平成29年4月に水道事業会計へ統合しました。

※平成31年度下半期から消費税率を10%としています。



京都府営水道について、ご存じですか？

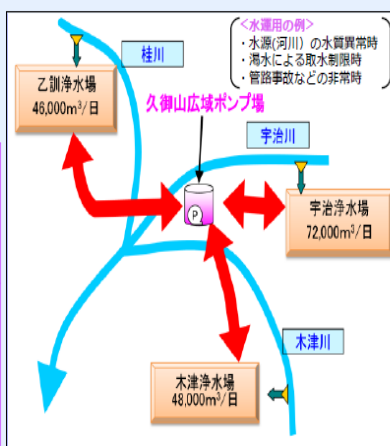
府営水道が持つトリプルスリー

宇治川・木津川・桂川(3川)から取水した水を、それぞれ宇治・木津・乙訓浄水場(3浄水場)で浄水処理を行い、3浄水場の送水管路を久御山広域ポンプ場を中心に接続し3浄水場間で水道水を相互融通(3Q(サンキュー)水運用)しながら、受水市町に水道水を供給しています。

この府営水道の特徴(トリプルスリー)を活用し、ライフラインの安心・安全を支えています。

府営水道の特徴
(トリプルスリー)

3川	河川で発生する危害(リスク)を分散
3浄水場	運転方法等において工夫を重ねながら、3川の水質に応じた浄水処理を適切に実施
3Q水運用	水運用において安定した水質を確保(Quality)し、全施設一体となって水融通を行い水量を確保(Quantity)するとともに、非常時の水運用に速やかに移行できる体制を構築(Quick response)し、受水市町へ安定的に水道水を供給 Quality(質)、Quantity(量)、Quick response(迅速)



京都府営水道は、京都府が経営する水道事業です。

木津・宇治・乙訓の3つの浄水場で、1日最大166,000m³の水道水をつくって、京都府南部の10市町に供給しています。木津川市では、木津浄水場でつくられた水道水を1日最大13,000m³受水し、木津地域へ供給しています。

また、木津・宇治・乙訓の3つの浄水場と久御山広域ポンプ場が送水管で接続され、緊急時には京都府南部で水を融通することができるようになっていて、災害に備えています。



【木津浄水場】

木津川から取水し、1日最大48,000m³の水道水をつくっています。

編集・発行

木津川市上下水道部水道業務課

TEL:0774-75-1250